論文投稿規定（第 42 号より適用）

趣旨：

近代英語の研究，あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資する内容のものであり，未発表の論文であること。先行研究を十分に参看し，確かな研究テーマを設定し，精緻な分析を行い，明確な根拠に立脚し，新しい知見に富んだ独創的論考であること。

資格：

投稿者は本協会の会員に限る。ただし，共著の場合は少なくとも 1 名が会員でなければならない。本協会からの懲憩による特別寄稿の場合は会員以外の投稿も認める。

レイアウト：

日本語・英語ともに MS Word で横書きとし，A4 用紙を使用し，上 35mm，下左右は 30mm の余白をあける。日本語の場合は 1 ページあたり 32 字×32 行で，英語の場合は 1 ページあたり半角 80 字×32 行で作成する。Abstract の左右は 1.5 字分インデントする。

フォント：

日本語の場合は MS 明朝を，英語の場合は Times New Roman を使用し，タイトルを 14 ポイント，Abstract を 10.5 ポイント，それ以外を 12 ポイントで設定する。

総字数（総語数）：

日本語の場合は総字数を本文と後注のみで数えること（原稿に混在する英字は総字数には含まない）とし，18,000 字以内とする。英語の場合は総語数を本文と後注のみで 5,500 語以内とする。総語数・総字数にはタイトル，Abstract，語注，樹形図，表，グラフ，図版，参考文献，付録を含まない。原稿末尾に総字数（または総語数）を記す。

総ページ数：

日本語・英語ともに 25 ページ以内とする。総ページ数には，本文，後注，タイトル，Abstract，語注，樹形図，表，グラフ，図版，参考文献，付録の全てを含む。原稿には通し番号を入れる。

Abstract：

日本語・英語ともに，英語で 150 語以内の Abstract を冒頭に付する。

その他：

- タイトルのつけ方，Abstract の提示の仕方，語注，見出しのつけ方，樹形図，表，グラフ，図版や用例の提示の仕方，後注のつけ方，参考文献の記載方法等については，最新号の「投稿規定」及び同号掲載論考，協会ホームページの書式見本に従うこと。
- 英語原稿は英語母語話者のチェックを受けておくこと。
- 謝辞は投稿時には執筆者情報ファイルに記載し，本文中には記載しないこと。
- 論考内で投稿者自身の論文等に言及する際には、匿名審査が厳正に行われることに留意し、3 人称表現を使用すること。

〔投稿前の留意点〕

- 投稿規定に沿っていることを確認すること。
- 総字数（総語数）については，必ず，制限以内であることを確認した上で原稿末尾に総字数（総語数）を記すこと。同様に，総ページ数についても，制限以内であることを確認した上で原稿に通し番号を記すこと。総字数（総語数）制限を超過した投稿原稿もしくは総ページ数制限を超過した投稿原稿については，審査対象外となる。
- 投稿された全ての掲載論考は，一定期間経過後に Web 上に公開されるため、著作権が近代英語協会に属することを了解の上で、引用資料の著作権をクリアしておくこと。Web 上の公開に関する詳細については，ニューズレターや協会ホームページを参照のこと。

研究ノート投稿規定（第 42 号より適用）

趣旨：

近代英語の研究，あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資する内容のものであり，未発表のものであること。確かな研究目的を示し，その学問分野における新しい知見，展望ないしは方向性を予感させる内容を含んでいること。

資格：

投稿者は本協会の会員に限る。ただし，共著の場合は少なくとも 1 名が会員でなければならない。

レイアウト：

日本語・英語ともに MS Word で横書きとし，A4 用紙を使用し，上 35mm，下左右は 30mm の余白をあける。日本語の場合は 1 ページあたり 32 字×32 行で，英語の場合は 1 ページあたり半角 80 字×32 行で作成する。

フォント：

日本語の場合は MS 明朝を，英語の場合は Times New Roman を使用し，タイトルを 14 ポイント，それ以外を 12 ポイントで設定する。

総字数（総語数）：

日本語の場合は総字数を本文と後注のみで数えること（原稿に混在する英字は総字数には含まない）とし，5,500 字以内とする。英語の場合は総語数を本文と後注のみで 1,600 語以内とする。総語数・総字数にはタイトル，語注，樹形図，表，グラフ，図版，参考文献，付録を含まない。原稿末尾に総字数（または総語数）を記す。

総ページ数：

日本語・英語ともに 8 ページ以内とする。総ページ数には，本文，後注，タイトル，語注，樹形図，表，グラフ，図版，参考文献，付録の全てを含む。原稿には通し番号を入れる。

その他：

- タイトルのつけ方，語注，見出しのつけ方，樹形図，表，グラフ，図版や用例の提示の仕方，後注のつけ方，参考文献の記載方法等については，最新号の「投稿規定」及び同号掲載論考，協会ホームページの書式見本に従うこと。
- 英語原稿は英語母語話者のチェックを受けておくこと。
- 謝辞は投稿時には執筆者情報ファイルに記載し，本文中には記載しないこと。
- 論考内で投稿者自身の論文等に言及する際には、匿名審査が厳正に行われることに留意し、3 人称表現を使用すること。

〔投稿前の留意点〕

- 投稿規定に沿っていることを確認すること。
- 総字数（総語数）については，必ず，制限以内であることを確認した上で原稿末尾に総字数（総語数）を記すこと。同様に，総ページ数についても，制限以内であることを確認した上で原稿に通し番号を記すこと。総字数（総語数）制限を超過した投稿原稿もしくは総ページ数制限を超過した投稿原稿については，審査対象外となる。
- 投稿された全ての掲載論考は，一定期間経過後に Web 上に公開されるため、著作権が近代英語協会に属することを了解の上で、引用資料の著作権をクリアしておくこと。Web 上の公開に関する詳細については，ニューズレターや協会ホームページを参照のこと。

書評投稿規定（第 42 号より適用）

趣旨：

書評対象図書の構成と概要をまとめ，可能な限り長短を示しながら，評者の視点から述べていること。対象図書が論文集である場合は，学界の動向を知らせる論文あるいは評者の興味を引いた論文をいくつか特定すること。

資格：

投稿者は本協会からの懲戒を受けた会員に限る。

レイアウト：

日本語・英語ともに MS Word で横書きとし，A4 用紙を使用し，上 35mm，下左右は 30mm の余白をあける。日本語の場合は 1 ページあたり 32 字×32 行で，英語の場合は 1 ページあたり半角 80 字×32 行で作成する。

フォント：

日本語の場合は MS 明朝を，英語の場合は Times New Roman を使用し，タイトルを 14 ポイント，それ以外を 12 ポイントで設定する。

総字数（総語数）：

日本語の場合は総字数を本文と後注のみで数えること（原稿に混在する英字は総字数には含まない）とし，5,500 字以内とする。英語の場合は総語数を本文と後注のみで 1,600 語以内とする。総語数・総字数にはタイトル，語注，樹形図，表，グラフ，図版，参考文献，付録を含まない。原稿末尾に総字数（または総語数）を記す。

総ページ数：

日本語・英語ともに 8 ページ以内とする。総ページ数には，本文，後注，タイトル，樹形図，表，グラフ，図版，参考文献，付録の全てを含む。原稿には通し番号を入れる。

その他：

- タイトルのつけ方，語注，見出しのつけ方，樹形図，表，グラフ，図版や用例の提示の仕方，後注のつけ方，参考文献の記載方法等については，最新号の「投稿規定」及び同号掲載論考，協会ホームページの書式見本に従うこと。
- 英語原稿は英語母語話者のチェックを受けておくこと。
- 謝辞は投稿時には執筆者情報ファイルに記載し，本文中には記載しないこと。
- 論考内で投稿者自身の論文等に言及する際には、匿名審査が厳正に行われることに留意し、3 人称表現を使用すること。

〔投稿前の留意点〕

- 投稿規定に沿っていることを確認すること。
- 総字数（総語数）については，必ず，制限以内であることを確認した上で原稿末尾に総字数（総語数）を記すこと。同様に，総ページ数についても，制限以内であることを確認した上で原稿に通し番号を記すこと。総字数（総語数）制限を超過した投稿原稿もしくは総ページ数制限を超過した投稿原稿については，審査対象外となる。
- 投稿された全ての掲載論考は，一定期間経過後に Web 上に公開されるため、著作権が近代英語協会に属することを了解の上で、引用資料の著作権をクリアしておくこと。Web 上の公開に関する詳細については，ニューズレターや協会ホームページを参照のこと。

原稿ファイル・執筆者情報ファイルの送付方法

(1) 原稿及び執筆者情報を別々の電子ファイルで以下の編集幹事宛にメール添付にて送付すること。

専修大学文学部英語英米文学科　　菊地翔太
中部大学人文学部英語英米文化学科　田中祐太
（近代英語協会事務局編集幹事）
e-mail：mode.assoc@gmail.com

＊ 執筆者情報ファイルは協会ホームページからダウンロードすること。執筆者情報に含まれるのは，執筆者氏名（漢字，ふりがな，ローマ字で），論考種別，タイトル，研究対象分野，研究対象キーワード，略歴（現在の所属先などを含む），生年月日（新人賞審査の希望者のみ），連絡先の郵便番号と住所，電話番号，メールアドレス，謝辞である。これらの内，タイトル以外は原稿中には記さないこと。なお，和文原稿の場合は必ず英文タイトルも付けること。

＊ ファイル形式は Microsoft Word（.doc または.docx）及び PDF とすること。ファイルのプロパティからは執筆者の個人情報を削除しておくこと。

＊ ファイル名は，以下の例を参照のこと。（xxxx は氏名で置き換え）
原稿ファイル　→　xx 号_論文_xxxx_原稿.doc（-.docx）及び pdf
執筆者情報ファイル　→　xx 号_論文_xxxx_情報.doc（-.docx）及び pdf

＊ 編集幹事はメールでファイルを受領したときには必ず確認のメールを返信しますので，1 週間以内に返信がない場合は，お手数ですがメールにてご確認ください。それでもなお，返信がない場合は，お手数ですが事務局長までご連絡ください。メール添付による完全電子投稿システムの運用につき，万全な受領確認体制の確保にご協力ください。

(2)　締切り：9 月 15 日

(3)　参考文献書式等委細については，最新号掲載論考，及び協会ホームページの書式見本に従うこと。

［注意］編集幹事の宛先は変更となる場合があります。
最新情報はニューズレターや協会ホームページでご確認ください。